

令和8年(2026年)5月22日 (金曜日)

松毛川再生へ工事進む

三島

県治水能力向上、護岸整備



川底を歩き、工事の状況を確認する渡辺専務理事(右)ら三島市と沼津市の境に位置する松毛川

三島市と沼津市の境に位置する松毛川で、県による親水護岸工事が進められている。2024年度に着手した全3期にわたる工事のうち、上流部の第1期区間(212㍓)が間もなく完了する。20日、同川の環境整備に取り組むNPO法人グラウンドワーク(GW)三島や施工業者、県の関係者が集まり、水を一時的に止めていた大型土のうを撤去する前の施工状況などを確認した。

(伊豆日日新聞 土屋春菜)

同川は狩野川流域に唯一残された旧河川敷の止水域で、貴重な河床のヘドロなどを、豊かな生態系を有している。農業用排水路としても使われているが、大部分にヘドロや

が通れる管理道路なども造り、良好な水辺空間を形成する。

環境負荷を回避・軽減する「ミチゲージョン」を徹底しており、その指導をGW三島が担っている。第1期では大型土のうの設置後

に、河川内の生き物や植物を移動させた他、周辺の木々を川の侵食から守るため、のり面の整備などを行った。

GW三島は03年から同川の環境再生に取り組んでいる。渡辺専務理事は「20年前、三島と沼津のごみ捨て場といわれた松毛川が、生き物たちの楽園としてよみがえった。引き続き『地域協働型環境保全事業』の実施を期待している」と話した。

残り479㍓の区間を、28年度の完成に向けて進めていく。